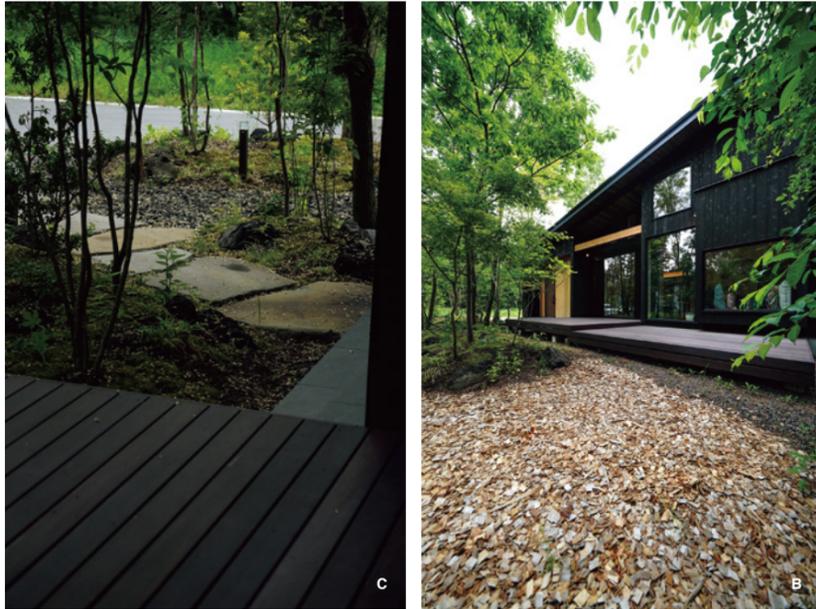


Builder:
トモノ建築設計事務所
Note:
軽井沢町/M邸
家族構成/3人



葉っぱをイメージした 緑が映える家

見た目も性能も申し分なし。
地元を知る工務店がつくる
快適な軽井沢スタイルの家

焼杉とレッドシダー。木の風合いが独特の美しさを放つM邸に、庭の緑が初夏の訪れを告げます。ここに暮らすのはMさん夫妻と娘さん、そこへボーダーコリーのマーブルが加わり、穏やかな日々がスタートしました。一家が東京から引っ越しを決めたのは、軽井沢の自然に魅せられてのこと。都心でのマンション暮らしを窮屈に感じ始めていた頃でした。

家を建てるにあたり、ご夫婦には共通の思いがあったといいます。お任せするならば、地元で精通した工務店に限ると。「展示場で見かけるような、豪華な家を望んでいたわけではないので」とご主人。思い描いたのは、自分たちの価値観や考えに寄り添ったオーダーメイドの住まい。数あるビルダーからトモノ建築設計事務所を選んだのは、軽井沢での実績や同社の「聞く力」、「包容力や柔軟性」に惹かれたためです。「もちろんトモノさんが建てた家も拝見しました」と奥様。デザインもクオリティも申し分のないこんな素敵な家が予算内で建てられるなら、とほぼ一択だったそう。

今ご夫妻は改めて感じています。住まいづくりの要はスタッフの人柄、現場での風通しの良さやチームワークなど、目には見えない部分にあることを。それがスタイリッシュな見た目にひけをとらない、高性能な家をつくる秘訣なのです。地域の気候に馴染んだ、住み心地満点の家。「最高です」と笑います。

A_「葉っぱ」をコンセプトにデザインされたM邸。建物の対角線を軸にした大屋根は、葉脈が広がるイメージに。B_庭に敷き詰められたウッドチップは、足の汚れ防止。木の素材感が周囲の緑とマッチしている。C_植栽の合間をぬって続く玄関アプローチ。D_新居に引っ越したことで、「犬を飼いたい!」という娘さんの悲願を達成。今ではすっかり弟分のような。



暑さや寒さの憂いなし。
家のどこにいても
風や緑を感じる住まい

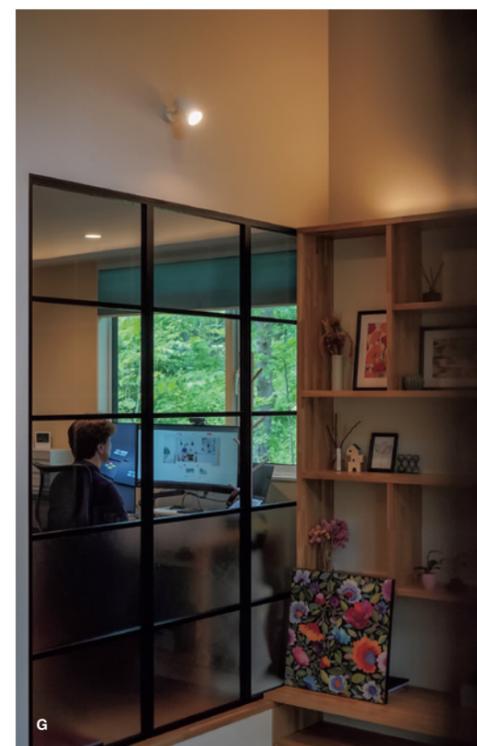
トモノのこだわりの一つが、断熱性や気密性など建ててからは見られない家の性能部分にあります。それは家族が末長く

安心して暮らしていくための、大切な土台です。目指すのは耐震性や耐久性に守られた、365日快適な住まい。ここM邸もまた一家にとって、軽井沢ライフの大きな味方となりました。

そして、いよいよ迎えた初めての冬。実は、M邸の暖房は床下エアコン1基のみ。基礎工事の際、現場の職人さんからすでに太鼓判を押されていたという奥様。その暖かさを体感したことで確信したそう。「断熱材も含め、家の根幹に関わる部分はやっぱり重要です。包み隠さず見せていただき、納得しました」

一方、ご主人が思い出すのは、家を建てる前に聞いた風通しの話。「このあたりではこの時期にどの方向から風がどう吹くのか、といったことを教えていただきました。だから、ここに窓を付けたらこうなって……と」。窓の位置一つとっても頼もしいこうした提案は、土地を熟知している何よりの証。「小さなことでこそそんな経験や積み重ねが、五感に響く住まいをつくりあげているんですね」とご主人。

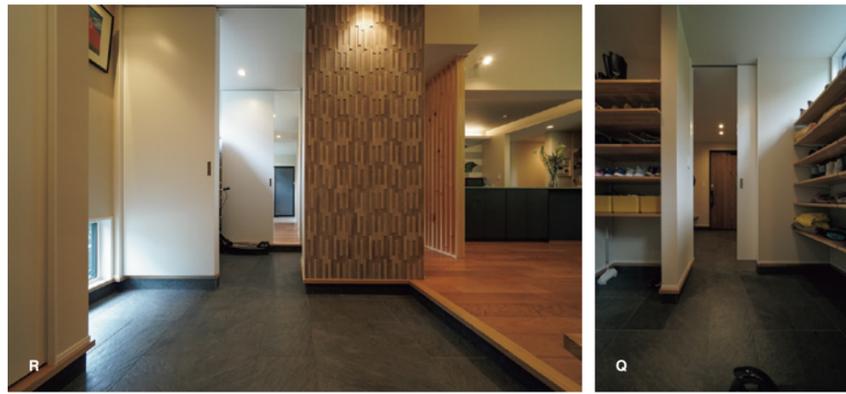
これから新居で本格的な夏を迎えるMさん一家。暑さは年々厳しくなりますが、心配はありません。室内に流れる清々しい空気と、樹木がもたらす涼やかな緑陰。自然を感じる優しい住まいが、家族をそっと見守ります。



I_テーマは黒。奥様がチョイスしたという壁のタイルや天井のダウンライトがシックな雰囲気。YAJIMAのオーダーキッチンもセンスが光る。 J_季節によって移ろう窓からの眺め。ゆったりした時間がなんとも贅沢。 K_キッチンからパントリーへ、効率のいい家事動線もお気に入り。

E_床と天井、柱と梁などLDKの空間いっばいに広がる木のあたたかみ。大きな窓越しに豊かな緑が一望でき、野鳥やリスの姿も見かけるそう。 F_ダウンフロアのリビングは奥様のお気に入りのスポット。出窓でのんびり本を読むのが夢だった。 G_リビングとガラスの壁で仕切られたご主人の書斎。開放的で広々。ここで週に3日ほどリモートワークをこなす。 H_リビング正面の造作棚。均等ではつまらないから、建築途中で奥様がお願いしランダムな仕切りに。見た目だけでなく使い勝手もバッチリ。





Q_洗面所から引き戸を開けて玄関へ。手前の家族用のスペースは造作棚のおかげでいつでもすっきり片付けられている。R_ご主人のリクエストで玄関にエコカラットを取り付けた。見た目のアクセントにもなり一石二鳥。左の小窓は愛犬用に。ここから外が眺められるようにとの思いから。S_外壁には奥様が絶対に譲れなかったという焼杉を使用。緑と黒のコントラストが絶妙。樺など庭の樹々も今後の生長が楽しみ。T_自然に囲まれた暮らしを満喫。散歩の習慣は愛犬マールのおかげ。



L_ご夫妻共にリモートワーク。書斎横の洋室はゲストルームながら、現在は奥様が仕事場として使っている。ゆくゆくは来客用にベッドを置く予定。M_書斎からガラス越しにリビングが見え、家族や愛犬の様子も一目瞭然。N_M部は天井が5mと高いため、せっかくならと娘さんの部屋にロフトをしつらえた。まるで秘密基地のよう。O_写真左手の引き戸を開けると玄関へ続く。帰宅後すぐに手が洗えて家族にも大好評。P_脱衣室。洗濯物は乾燥機を使って乾かすのが奥様流。スウェーデン製のパワフルなマシンを愛用している。

DATA

敷地面積 — 578.39㎡ (174.61坪) 1F面積 — 132.49㎡ (40.00坪)
 延床面積 — 132.49㎡ (40.00坪) デッキ面積 — 21.00㎡ (6.34坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:集成材、梁:米マツ・レッドウッド集成材、土台:ヒノキ、デッキ:ウリン 断熱材/天井:発泡ウレタンフォーム 200mm、壁:硬質ウレタンフォーム85mm、基礎:ポリスチレンフォーム(立上がり部)100mm、(底盤部)50mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:焼杉+レッドシダー板張り 主な内装仕上げ/天井:クロス+ヒノキ板張り、壁:クロス+タイル+ウッドパネル、床:フローリング+タイル+フロアタイル 開口部/樹脂サッシ+トリプルガラス キッチン/オーダーキッチン(YAJIMA) キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/LIXIL リデア 暖房の種類/高効率エアコン C値/0.07 UA値/0.29



Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A コミュニケーションです。「言っておけばよかった」とならないよう希望をきちんと伝えられる関係性が大切です。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A 平屋にして正解でした。動線もスムーズで、使い勝手や住み心地も抜群です。掃除も楽で助かります。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A デザインやクオリティはもちろん、コスト面でも気にかけていただいたこと。やっぱり予算ありきですから。

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A 森に舞い降りた葉をイメージし対角線を軸に大屋根をかけた。自然と一体になるような軒の出と佇まいをめざしました。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 斜めにあつらえた切妻屋根とダウンフロアのリビング、黒をコンセプトにしたオーダーキッチンです。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A 末長く安心して快適に暮らしていただけるよう、お施主様を大切な友人や身内と思って家づくりをご提案しています。

